SANUS SYSTEMS

LMF110-B1 壁掛け金具
取 扱 説 明 書

----- 重量 50kg 以下の薄型テレビの壁掛けに適用 -----

このたびは、LMF110-B1 のリモコンで角度調整の可能な薄型テレビ壁掛け金具を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
LMF110-B1 は、0 ～ -15 度の上下と、±20 度の左右首振り角度を、リモコンで調整する事が出来ます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。
販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

液晶テレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明してます。

⚠ 警告	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
🛇	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。
❗	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

⚠ 警告

🛇 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

⚠ 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

🛇 荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は、少なくとも薄型テレビの重量の 5 倍の強度に耐える場所が必要です。

⚠ 警告

禁止　LMF110-B1 薄型テレビの壁掛け金具は、総重量 50kg 以下の薄型テレビを、壁面に固定するものです。
50kg 以上の薄型テレビの取付には、絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。

禁止　湿気やほこりの多いところや、油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にモニターを取り付けないで下さい。
モニターに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。

⚠　組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないと、モニターの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。

❗　モニターの取り付けや取り外し作業は、２人以上で行って下さい。
モニターが落下して、けがをしたりモニターが破損する原因となることがあります。

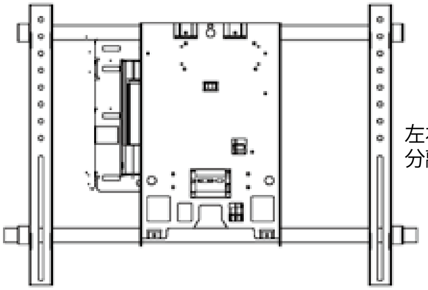
禁止　取り付け作業の際は、モニターや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、モニターや周辺機器を破損する恐れがあります。

❗　壁掛け金具を組み立てたり、各工程に使用するネジは、下記の部品表に記載してありますが、机面の材質や厚み等によっては、不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

２．部品一覧表

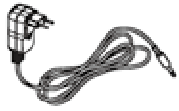
梱包を開梱し、組み立てる前に次のＡ図の部品名と現品の形を確認しておいて下さい。

A 図



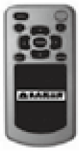
左右のテレビブラケットは本体から分離して梱包することもあります

(A) リモコン壁掛け金具本体 ・・・・・ 1コ



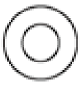
(B) 電源プラグ ・・・・・ 1コ

(C) リモコン受光器 ・・・・・ 1コ



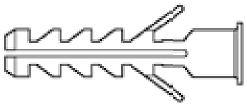
(D) リモコン ・・・・・1コ

(E) リチウム電池 ・・・・・ 1コ



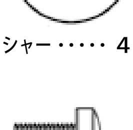
(F) 本体取付ワッシャー ・・・・・ 4コ

(G) 壁掛け金具本体固定ネジ ・・・・・ 4コ

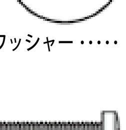


(H) コンクリートアンカー ・・・・・ 4コ

(I)M5x18.5 ネジ ・・・・・ 2コ



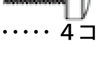
(J)M4/M5 ワッシャー ・・・・・ 4コ



(K)M6/M8 ワッシャー ・・・・・ 4コ

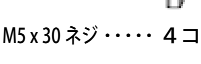
(L) M4 x 10 ネジ ・・・・・ 4コ

(M) M5 x 12 ネジ ・・・・・ 4コ

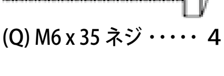


(N) M6 x 12 ネジ ・・・・・ 4コ

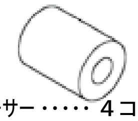
(O) M4 x 30 ネジ ・・・・・ 4コ



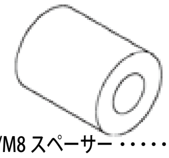
(P) M5 x 30 ネジ ・・・・・ 4コ



(Q) M6 x 35 ネジ ・・・・・ 4コ



(R) M4/M5 スペーサー ・・・・・ 4コ



(S) M6/M8 スペーサー ・・・・・ 4コ

(T) ケーブルタイ ・・・・・ 2コ

3　組み立てかた

1　リモコン壁掛け金具本体を木柱に取り付ける ----- コンクリート壁に取り付ける場合は次項２に進んで下さい

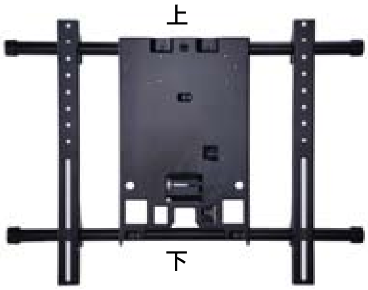
（1）リモコン壁掛け金具本体（A) の上下方向の取り付け位置関係は、下の写真を参考にして下さい。次に B 図の (1 図) に示すように、リモコン壁掛け金具本体（A) の四隅に取り付けてあるネジを少し緩めて、パイプが動くようにします。

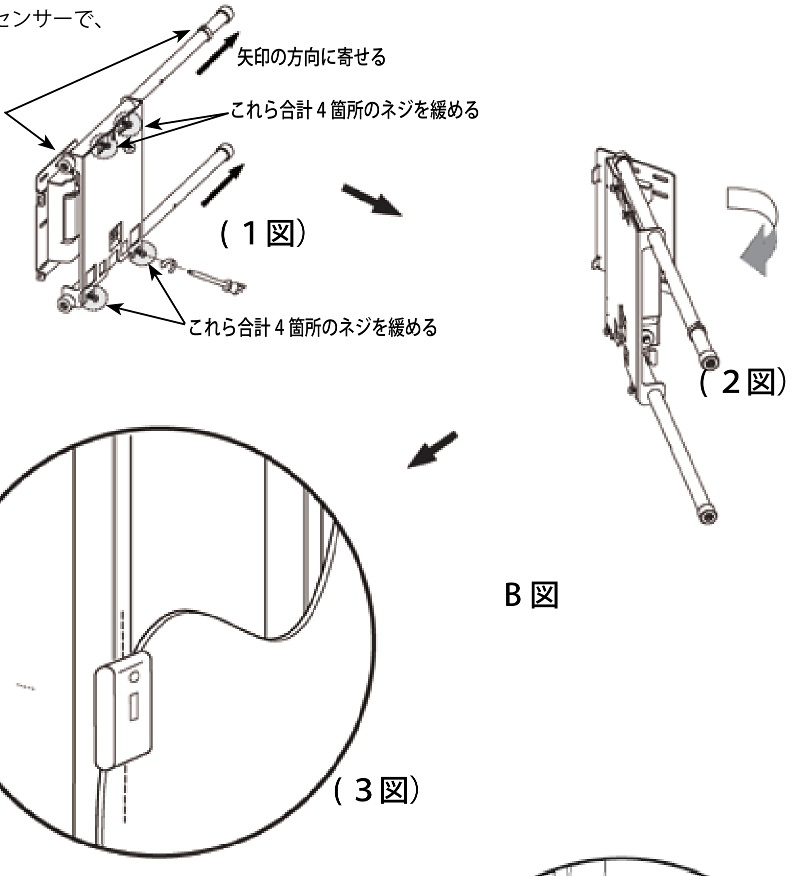
（2）(1 図) で上側のパイプの左右に取り付けてある 2 個のリング状部品のネジを緩めます。最後に（1 図) に示す方向に、上下のパイプ 2 本を右方向に一杯寄せます。

（3）2 本の棒の取り付いているメカニズム部分を引き起こして、(2 図) のように壁面取り付け部と直角の位置関係にします。

（4）B 図の (3 図) のように、高感度柱位置検出センサーで、丈夫な柱のある場所を調べます。

完成時の写真（上下位置確認用）



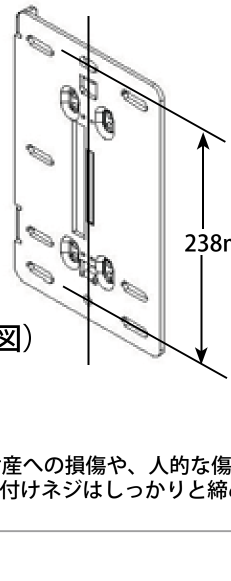


B 図

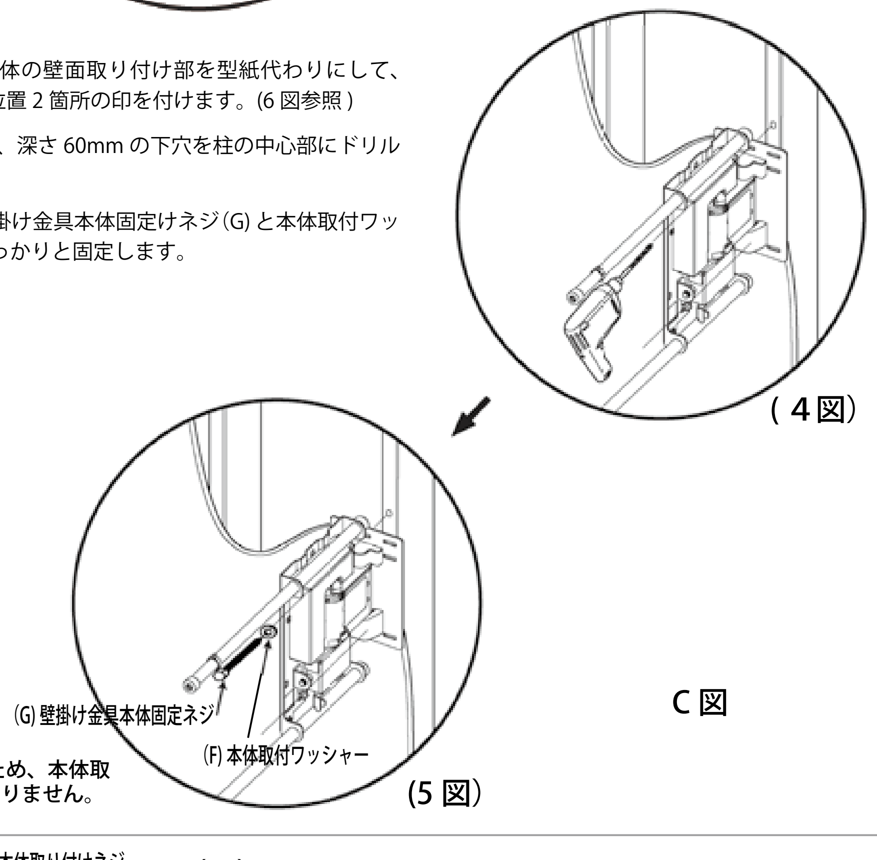
（5）C 図の（4 図) のように、壁掛け金具本体の壁面取り付け部を型紙代わりにして、前項で調べた柱の真上に、取り付け穴位置 2 箇所の印を付けます。(6 図参照)

（6）直径 5mm のドリルで印を付けた場所に、深さ 60mm の下穴を柱の中心部にドリルで２個開けます。

（7）リモコン壁掛け金具本体（A) を、２個の壁掛け金具本体固定けネジ（G) と本体取付ワッシャー（F) で、(5 図) のように柱にしっかりと固定します。



(6 図)



C 図

注意：財産への損傷や、人的な傷害を避けるため、本体取り付けネジはしっかりと締め付けねばなりません。

(J) 本体取り付けネジ

(A) リモコン壁掛け金具本体

2　リモコン壁掛け金具本体をコンクリート壁に取り付ける

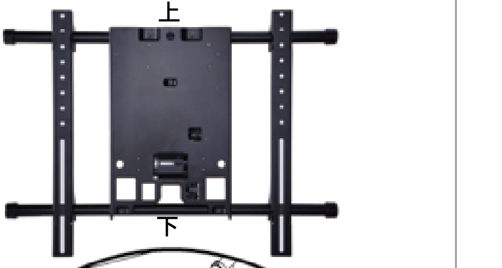
（1）リモコン壁掛け金具本体（A) の上下方向の取り付け位置関係は、下の写真を参考にして下さい。次に D 図の (1 図) に示すように、リモコン壁掛け金具本体（A) の四隅に取り付けてあるネジを少し緩めて、パイプが動くようにします。

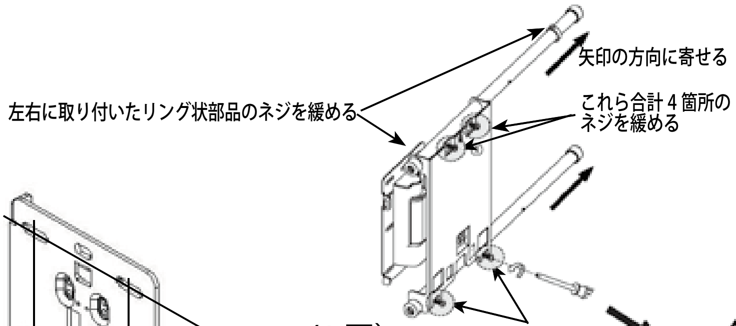
（2）（1）図で上側のパイプの左右に取り付けてある 2 個のリング状部品のネジを緩めます。最後に（1 図) に示す方向に、上下のパイプ 2 本を右方向に一杯寄せます。

（3）リモコン壁掛け金具本体 (A) を取り付けるコンクリート壁の場所を決めます。

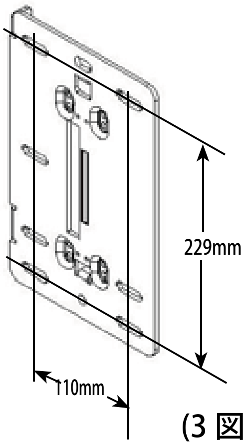
（4）(3 図) の寸法を参照して、直径 10mm のコンクリートアンカー（H) を取り付ける下穴を、(2 図) のようにコンクリート壁にドリルで４個開けます。この時 2 本のパイプに取り付いているメカニズム部分が作業性を悪化させる時は、2 本のパイプを上方向に引き起こして下さいこして下さい。

完成時の写真（上下位置確認用）



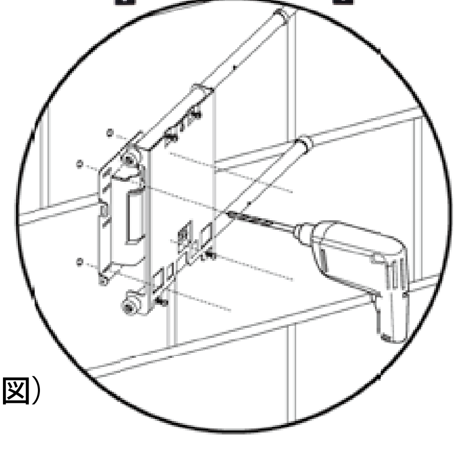


(1 図)



(3 図)

D 図

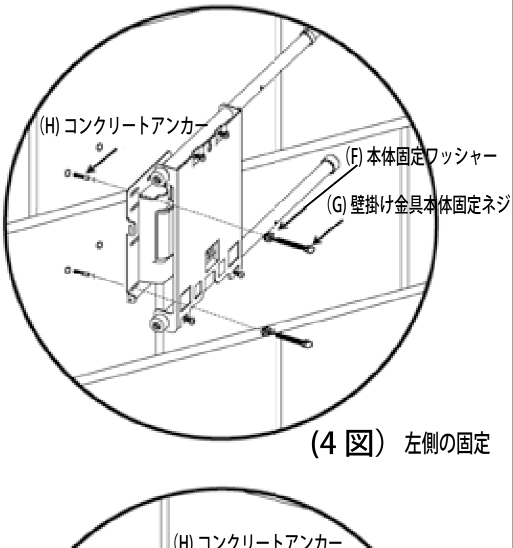


(2 図)

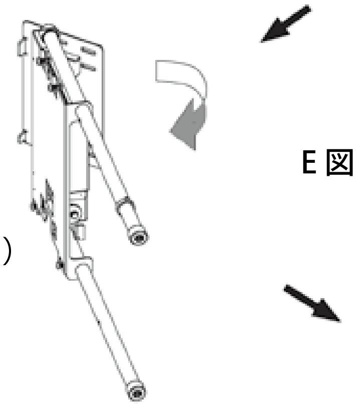
（5） 4 個開けた下穴に、コンクリートアンカー（H) を４個取り付けます。

（6）先ず（4 図) のように左側の 2 箇所のコンクリートアンカーに、壁掛け金具本体固定ネジ (G) と本体取り付けワッシャー (F) で、リモコン壁掛け金具本体 (A) を壁面に固定します。

（7）2 本のパイプを (5 図) のように引き起こします。続いて、右側 2 箇所のコンクリートアンカーに、壁掛け金具本体固定ネジ (G) と本体取り付けワッシャー (F) で、リモコン壁掛け金具本体 (A) を壁面に固定します。(６図)

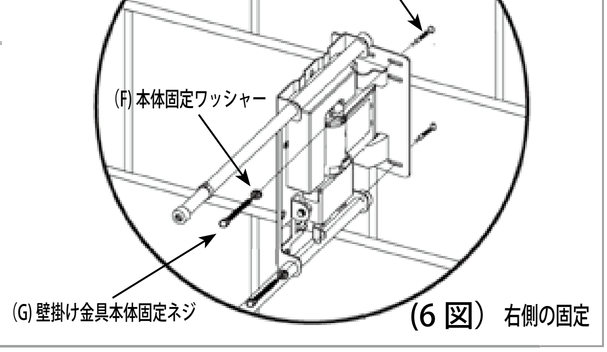


(4 図） 左側の固定



(5 図)

E 図



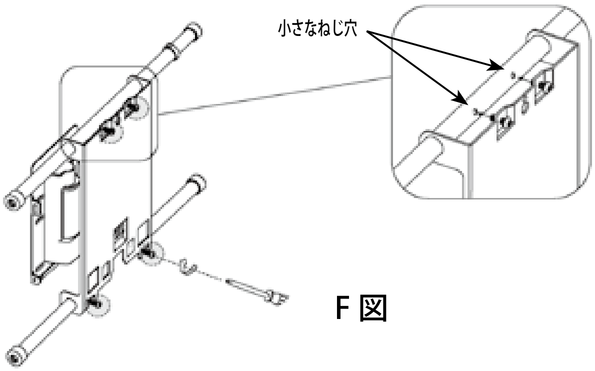
(6 図） 右側の固定

注意：財産への損傷や、人的な傷害を避けるため、本体取り付けネジはしっかりと締め付けねばなりません。又石膏ボード等のドライウォール材は、16mm 以下でなければなりません。

3　薄型テレビの取り付け前の予備作業

（1） 1項又は２項で右側一杯に寄せた上下のパイプを、F 図のように最初の取り付け位置、即ちパイプの左右の中心位置に戻します。
戻す位置はパイプに付いている、小さなネジ穴を目印にして下さい。

（2）次に、１項又は２項で一旦緩めた４個のネジを、しっかりと締めつけます。（F 図）



F 図

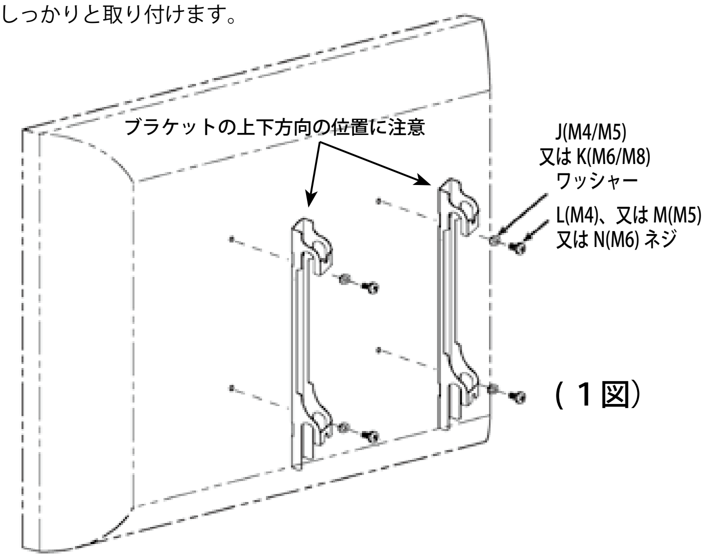
4　背面の平坦な薄型テレビの取り付け方法 ----- 背面に丸みや凸凹がある薄型テレビは次の 5 項に進んで下さい

（1）薄型テレビの取り付けに使う、背面のネジ穴の径を調べます。
M4 ネジ (L)、M5 ネジ (M)、M6 ネジ (N) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。

（2） ２本のテレビブラケットを取り出し、G 図の (1 図) ように上下方向を合わせた上で、薄型テレビの背面で上下の中央に配置します。

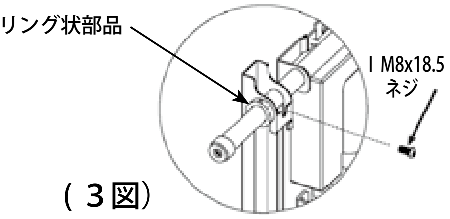
（3）先に調べたネジの径により、該当するネジ M4(L) 又は M5（M) 又は M6（N) と、M4/M5 ワッシャー（J) 又は、M6/M8 ワッシャー（K) を各４個づつ使って、薄型テレビにテレビブラケットをしっかりと取り付けます。

G 図



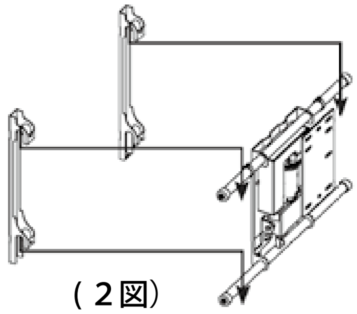
（１図）

注意：財産への損傷や、人的な傷害を避けるため、
薄型テレビは、大人二人以上で持ち上げて下さい。

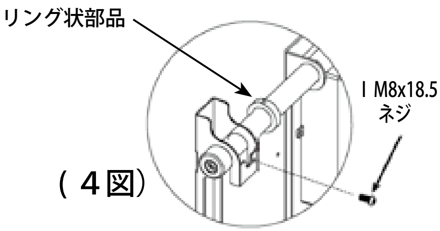


（３図）

この図は解り易くるために薄型
テレビは表示してません



（２図）



（４図）

（4）次に G 図 (2 図) のように、薄型テレビを持ち上げて、壁面に取り付けたリモコン壁掛け金具本体 (A) の、パイプの左右の中央位置に引っかけます。

（5）(3 図) 又は (4 図) に示すように、左右のテレビブラケットの上部のねじ穴に M8x18.5 ネジ（I) を挿入して、薄型テレビをパイプにしっかりと固定します。

（6）更に固定を確実にする為、パイプに取り付けてあるリング状部品を、テレビブラケットの外側 (3 図)、又はテレビブラケットの内側 (4 図) に密着させてから、リング状部品のネジをしっかりとねじ込みます。この時、左右のブラケットは、内側固定又は外側固定のいづれかに統一します。

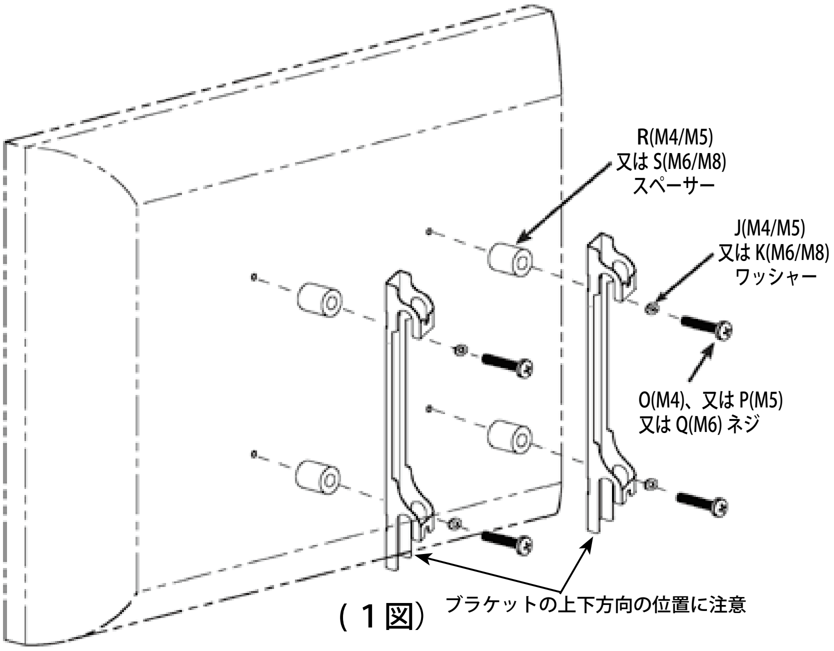
5　背面に丸みや凸凹がある薄型テレビの取り付け方法

注意：財産への損傷や、人的な傷害を避けるため、薄型テレビは、大人二人以上で持ち上げて下さい。

（1）薄型テレビの取り付けに使う、背面のネジ穴の径を調べます。
M4 ネジ (O)、M5 ネジ (P)、M6 ネジ (Q) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。

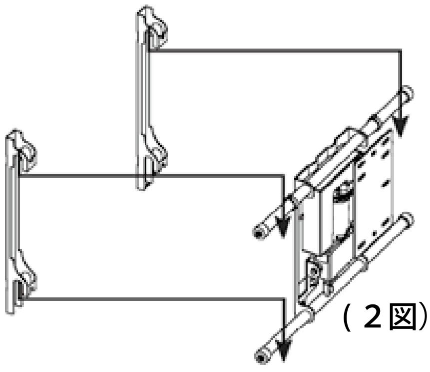
（2）２本のテレビブラケットを取り出し、H 図の (1 図) ように上下方向を合わせた上で、薄型テレビの背面の上下の中央に配置します。

（3）先に調べたネジの径により、該当するネジ M4(O) 又は M5（P) 又は M6（Q) と、M4/M5 ワッシャー（J) 又は、M6/M8 ワッシャー（K)、及び M4/M5 スペーサー（R)、又は M6/M8 スペーサー（S) を各４個づつ使って、薄型テレビにテレビブラケットをしっかりと取り付けます。



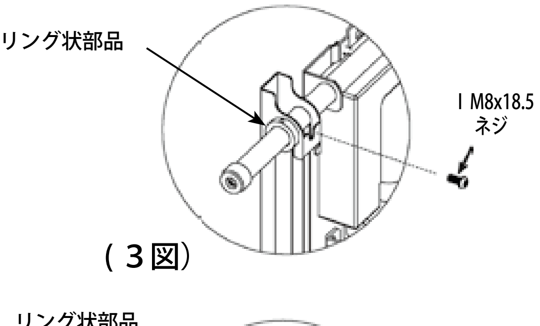
H 図

（１図）

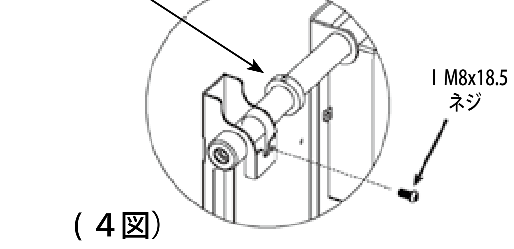


（２図）

この図は解り易くるために薄型
テレビは表示してません



（３図）



（４図）

注意：財産への損傷や、人的な傷害を避けるため、
薄型テレビは、大人二人以上で持ち上げて下さい。

（4）次に H 図 (2 図) のように、薄型テレビを持ち上げて、壁面に取り付けたリモコン壁掛け金具本体 (A) の、パイプの左右の中央位置に引っかけます。

（5）(3 図) 又は (4 図) に示すように、左右のテレビブラケットの上部のねじ穴に M8x18.5 ネジ（I) を挿入して、薄型テレビをパイプにしっかりと固定します。

（6）更に固定を確実にする為、パイプに取り付けてあるリング状部品を、テレビブラケットの外側 (3 図)、又はテレビブラケットの内側 (4 図) に密着させてから、リング状部品のネジをしっかりとねじ込みます。この時、左右のブラケットは、内側固定又は外側固定のいづれかに統一します。

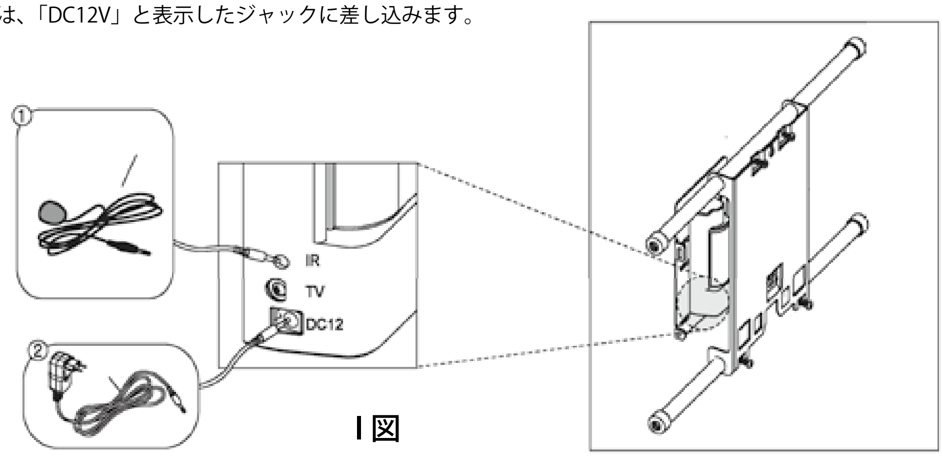
6　付属品の取り付け

（1）リモコン受光器（C) のプラグは、I 図のようにリモコン壁掛け金具本体（A) の「IR」と表示したジャックに差し込みます。

（2）同様に、電源プラグ（B) は、「DC12V」と表示したジャックに差し込みます。

(C) リモコン受光器

(B) 電源プラグ

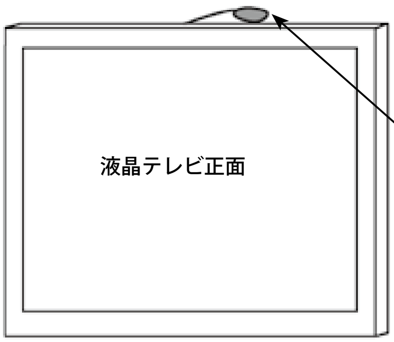


I 図

7　リモコン受光器の設置

（1）リモコン受光器（C) は、正面から見通せる場所、例えば J 図のようにテレビの上や、テレビの下に貼り付けて配置します。
リモコン送信機からの赤外線が、障害物に邪魔されずに、リモコン受光器に到達する事が大切です。

（2）各種ケーブル類、電源コード、アンテナケーブル等の線材は、ゆるみや、ねじれを取り去ってから、ワイヤータイ (T) を使って結束して固定して下さい。



(C) リモコン受光器

J 図

8　リモコン送信機の説明

K 図

1.「SETUP/RESET」ボタン
各メモリーの初期化を行います

2.「動作 LED」
注：機能ボタンとしての機能はありません
点滅時：信号送信中
点燈時：メモリーセット、又はキャンセル

3.「左旋回設定」ボタン
注：テレビを左旋回させた場合に、テレビが壁に当らない確度で自動停止させる設定を行なうボタンです

4.「上向きティルト」ボタン

5.「右旋回設定」ボタン
注：テレビを右旋回させた場合に、テレビが壁に当らない確度で自動停止させる設定を行なうボタンです

6.「左向きスイーベル」ボタン

7.「ホームポジション」ボタン

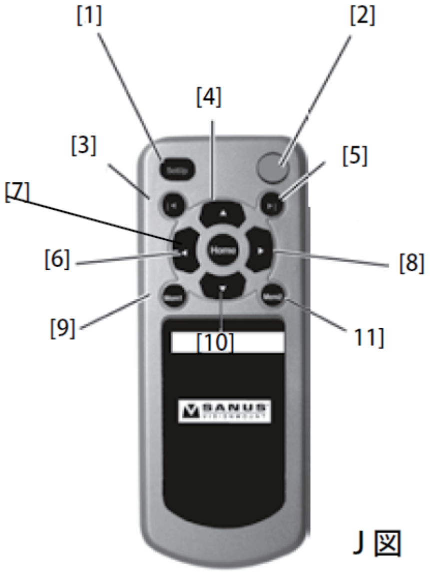
8.「右向きスイーベル」ボタン

9. オリジナルポジション「メモリー 1」ボタン

11. オリジナルポジション「メモリー 2」ボタン

初期設定の方法は８頁に記載してあります

9　リモコン送信機の初期設定



J 図

★　リモコン用電池の収納

リモコンの電池収納部分は左図のように、リモコンケースの裏側の下方にあります。小さなトレイの上に電池を置いて、トレイをケースの中に押し込んで下さい。

注意：交換用電池は市販のCR2025 リチウムボタン電池を使用して下さい。それ以外の電池を使用した場合、装置の故障の原因になります。

トレイ

注意：この初期設定を行うまで、「Home」キー、「Mem1」キー、「Mem2」キー、壁面自動停止機能は働きません。LMF110-B1 を壁面に取付けた後、最初に下記「初期設定」を行ってください。

注意：「3. 左向き赤三角（ ◀ ）」「5. 右向き赤三角（ ▶ ）」ボタンは初期設定時のみ使用してください。
初期設定終了後に誤ってこれらのボタンを押すと、設定内容が消去されることがあります。

注意：設定は下記順番を必ず守ってください。この手順を間違うと LMF110-B1 は正常に動作しません。もし順番を間違って設定をした場合は、 手順 1.「ホームポジション」設定からやり直して下さい。

手順 1.「ホームポジション」設定

1）「6. 左向き三角（ ◀ ）」「8. 右向き三角（▶ ）」「4. ▲」「10. ▼」の各ボタンを使いホームポジションに設定したい位置にテレビを移動させます。
※通常は LMF110-B1 を折りたたんだ状態をホームポジションに設定され ることをお勧めします。

2）「1.SETUP/RESET」ボタンを「2. 動作 LED」の点滅が停止し、点灯するまで約 5 秒間押し続けます。

3）これで、各機能ボタンがリセット（初期化）されると共に「7. ホームポジション」ボタンに、1）で停止したテレビの位置が設定されます。

手順 2.「右側壁面設定」壁面自動停止機能の設定：テレビが壁面に接触しない範囲で、右方向の最大首振り動作を行うように角度を調整します。

1）「8. 右向き三角（ ▶ ）」ボタンを押してテレビの右端が壁面から３０mm 程度離れた位置で停止させます。

2）「5. 右向き三角（ ▶ ）（イラスト）」ボタンを「2. 動作 LED」の点滅が停止し、点灯するまで約 5 秒間押し続けます。

3）これで、「右側壁面設定」壁面自動停止機能の設定は完了です。チルトした状態でも壁面の直前で自動停止し、その後は「8. 右向き三角（ ▶ ）」ボタンを押し続けても動作しません。

手順 3.「左側壁面設定」壁面自動停止機能の設定：テレビが壁面に接触しない範囲で、左方向の最大首振り動作を行うように角度を調整します。

1）「6. 左向き三角（ ◀ ）」ボタンを押してテレビの右端が壁面から３０mm 程度離れた位置で停止させます。

2）「3. 左向き三角（ ◀ ）」ボタンを「2. 動作 LED」の点滅が停止し、点灯するまで約 5 秒間押し続けます。

3）これで、「左側壁面設定」壁面自動停止機能の設定は完了です。チルトした状態でも壁面の直前で自動停止し、その後は「6. 左向き三角（ ◀ ）」ボタンを押し続けても動作しません。

手順 4.「9. オリジナルポジション「メモリー 1 または 2」ボタン」への登録 1）テレビのポジションがお好みの位置に来るように「6. 左向き三角（ ◀ ）」「8. 右向き三角（▶ ）」「4. ▲」「10. ▼」の各ボタンを使い調節します。

2）「メモリー 1 または 2」ボタンを「2. 動作 LED」の点滅が停止し、点灯するまで約 5 秒間押し続けます。

3）これで、「メモリー 1 または 2」ボタンに、1）で停止したテレビの位置が設定されます。

注意：リモコン側に電池切れなどの障害があってもメモリー内容は消去されません。メモリー内容を消去するには、「SETUP/RESET」ボタンを使って「９．リモコン送信機の初期設定」を行って下さい。
ただし、この場合すべての設定が消去されますので、各機能ボタンの設定をやり直す必要があります。

注意：スイーベル動作時にテレビが壁面に接触したり、障害物に接触した場合には、LMF110-B1 は 2 秒後に動作を自動停止します。

KIC 株式会社ケイ アイ シー
〒160－0022東京都新宿区新宿1－28－3
TEL. 03－3357－7195(代)
http://www.kic-corp.co.jp